



福祉見である記 ③⑥

60周年記念会館（14号館）

熊本学園大学学園創立60周年記念事業の一環として建設された60周年記念会館（14号館）は平成19年6月14日に竣工式、落成式が行われた。建物の西側には熊本東宝会館に飾られていたモザイク壁画「蝶」（海老原喜之助氏）がシンボリック的存在になっており、熊本の豊かな文化の一端を見ることができる。建物内部には、6カ国語同時通訳の国際会議対応の高橋守雄記念ホール（552席）をはじめとして1階は教室、就職課、応接室、会議室となっており、2階は教室とエクステンションセンター、外国語研修センター、地域連携課、会議室、ギャラリー、ロッカールームなどがあり、3階は教室、事務室、会議室、通訳ブース（ホール用）、4階はe-キャンパスセンター事務室、パソコン室など情報ネットワーク関連の施設、5・6階は大学院関連の講義室、演習室、指導室、事務室、会議室、パソコン室、自習室などがあり、建物として充実している。

建物脇東北側にはかつての「西海道駅跡」の遺跡の一部を見ることができるようになっている。これは建設の際発掘された当時の貴重な歴史的遺跡を、一部だが誰もが見学出来るようにしたもので、遺跡脇には説明板も設けられている。

この14号館はユニバーサルデザインの観点からも設備が考えられていて、入口総合案内板には視覚しょうがい者を案内板に導くチャイムや点字案内、また、内部には床面、階段面に点字ブロックがあると同時に、階段の手

すりにも各階へと導く点字表示がなされているのが特徴である。さらに、各階に子ども専用椅子のベビーチェア、おむつ交換用ベビシートなどを備えた多機能トイレが設置されている。また、中庭からホール後方へと導く階段にはスロープが設けられている。

階段、トイレ等はセンサーで利用者が通るときに点灯するなど節電の設備や、ごみ箱は既存の施設と同様、燃えるごみ、燃えないごみ、ビン、カン、ペットボトルの分別ができるようになっており環境へも配慮したつくりとなっている。

守弘仁志(本学研究所研究員 情報メディア論)
大野哲夫(本学研究所研究員 社会心理学)

